近畿地方交通審議会
近畿船員部会議事録

第 165 回

令和４年６月２３日

日　時　　令和４年６月２３日（木）　１６時００分から

場　所　　近畿運輸局　会議室（船員部会室）

出席者　　公 益 委 員　横見委員、定岡委員

労働者委員　浦委員、佐藤委員

使用者委員　礒合委員、土屋委員、開委員

運　輸　局　大谷海事振興部長、村上海事振興部次長、
水谷船員労政課専門官、
竹内船員労働環境・海技資格課長

議題１．管内の雇用等の状況について

議題２．その他

議　事　概　要

横見部会長代理：

それでは、ただ今から第１６５回近畿船員部会を開催いたします。

あらかじめメールにて「第１６４回船員部会」の議事録を送付してございますが、郵送したものに差し替えがございましたので、あらためて皆様のお手元に印刷したものを置いてございます。この議事録につきまして、ご承認願いたいと思います。ご異議ございませんか。

（異議なし）

横見部会長代理：

無いようですので、ご承認をいただいたものとして取り扱わせていただきます。

それでは、議題１の「管内の雇用等の状況」について、運輸局からご説明をお願いいたします。

水谷船員労政課専門官：

それでは「令和４年５月分管内雇用状況」につきまして、ご説明させていただきます。

１．職業紹介状況

①求人関係

新規求人数は、４４人（前月比－９２人、６７．６％の減、前年同月比：－１１人、２０．０％の減）となっています。

月間有効求人数は、２２２人（前月比０人、０．０％の増減無、前年同月比：＋６６人、４２．３％の増）となっています。

②求職関係

新規求職者数は、１４人（前月比＋２人、１６．７％の増、前年同月比：＋２人、１６．７％の増）となっています。

月間有効求職者数は、４０人（前月比＋５人、１４．３％の増、前年同月比＋２人、５．３％の増）となっています。

③成立状況

当月の成立数は、６人（前月比：＋１人、２０．０％の増、前年同月比：＋１人、２０．０％の減）となっています。

④職員・部員別成立者内訳

職種別の内訳は、甲板部職員２人、機関部職員３人、甲板部部員０人、機関部部員１人、事務務部員０人となっています。

年齢別については、１０歳代０人、２０歳代１人、３０歳代０人、４０歳代２人、５０歳代１人、６０歳代１人、７０歳代１人となっています。

２．新規求人・求職者の取扱実績

①職種別内訳

新規求人の職種別内訳は、職員３２人（甲板部１７人、機関部１５人、無線部０人、事務部０人）、部員１２（甲板部６人、機関部５人、無線部０人、事務部０人）となっています。

新規求職の職種別内訳は、職員１０人（甲板部５人、機関部４人、無線部１人、事務部０人）、部員４人（甲板部２人、機関部１人、無線部０人、事務部１人）となっています。

②新規求職者の退職理由

内訳は、船舶所有者の都合が１人、定年退職０人、雇用期間満了０人、本人の申し出６人、自己の健康０人、倒産０人、就労中５人、不明２人となっています。

③新規求職者の年齢別

３０歳未満３人、３０歳代２人、４０歳代４人、５０歳代２人、６０歳以上３人となっています。５０歳以上は５人で占める割合は３５．７％、３０歳未満は３人で占める割合は２１．４％です。

３．失業等給付金支給状況

受給資格者数は２１人で、基本手当の支払実人数は６人、給付件数は９件となっています。給付金額は１，５０１，３６８円です。前月は５人、６件の７１５，３４７円でした。

それから、高年齢求職者給付金が０件０円、再就職手当が２件８８２，９１９円、就業促進定着手当が０件０円よって、当月支給額計は、２，３８４，２８７円となります。

４．月間有効求人倍率の推移

５月の近畿船員は５．５５倍で、前月比－０．７９ポイント、前年同月比、＋１．４４ポイントとなっています。

５．近畿運輸局、月間有効求人・求職状況

①月間有効求人は２２２人で、このうち、新規求人者数は４４人となっています。

当局の紹介による求人側の成立は５人、他局成立は０名でございました。

求人の取り消しは５７人で、理由の内訳は有効期限切れ３９人、自己応募・縁故により採用３人、会社都合により取り下げ１５人、その他は０人となっています。

②月間有効求職者は４０人で、前月との差は５人でした。

当局の紹介による求職側の成立は１人、他局成立は１人でした。

求職の取り消しは１３人で、理由の内訳は期限切れ８人、自己応募・縁故により採用４人、自己都合により取り下げ０人、その他１人となっています。

６．全国運輸局別の有効求人、有効求職、成立数、有効求人倍率

①３月の全国の月間有効求人数は、２，８３７で、前月比１０１％、前年同月比は１１４．８％となり、３６６人増加しています。

②３月の全国の月間有効求職数は、８９２人で、前月比１０４．８％、前年同月比９２％となり、７８人減少しています。

③３月の全国の成立数は、７７人で、前月比８２．８％、前年同月比では８０．２％となり、１９人減少しています。

④３月の全国船員の有効求人倍率は季節調整値により３．２３倍となっています。３月の全国陸上は季節調整値により１．２３倍となっています。

以上が管内の雇用等の状況でございます。

横見部会長代理：

ありがとうございました。

ただいまのご説明につきまして、何か質問等ございますでしょうか。

土屋委員：

すみません、少し教えていただけますか。９ページの新規求職者の退職事由別というのがあるのですが、これを見ますと、本人の申出と就労中ということですが、この辞めた理由とかというのは何かデータはありますか。

どういうところで嫌になって辞めたかという理由は把握されていますか。

就労中も恐らく同じような理由かと思うのですが、例えば船内の雰囲気が合わないのか、残業が嫌なのか、そういうデータは何かありますか。

水谷船員労政課専門官：

申し訳ありません、そこまでのデータは持ち合わせておりません。

土屋委員：

そこまで立ち入っていないということですか。ありがとうございます。

横見部会長代理：

実は私も気になっていたところですが、退職理由の「本人の申出」の中に、今般のコロナ禍を理由としたものは、あるのでしょうか。そうしたデータがないということでありますが、聞き及んでおられる範囲で結構です。退職者

数の総人数は毎月それほど変動がないため、数字を見る限りは、コロナ禍による本人都合の退職者が増えたとは考えられない状況と思われますが・・・。

水谷船員労政課専門官：
　申し訳ありません、本人の申出という理由しか確認できておりませんでした。
　詳細につきましては、職業安定所窓口担当者に確認のうえ、次回部会にてご回答差し上げます。

礒合委員：
　就労中の乗組員で、乗船中に転職を考えて就職活動として電話をかけてこられる方はおられました。乗組員が乗船中に電話で、次の仕事を考えたいという連絡はあります。私が電話をかけてきた乗組員から聞いた話では、求職理由としては休暇が取れないという理由でした。今度、下船したときに、現在の船での仕事を辞めて、次のところへ行きたいという電話があったことがありました。

横見部会長代理：
　そうですか。わかりました。

礒合委員：
　今、本人の申出という理由の中に、内航タンカー業界ではコロナを理由に退職したという乗組員の話は聞いておりません。

横見部会長代理：
　個々の理由については分からないということなので、これ以上お聞きしてもとは思うのですが、退職理由の「船舶所有者の都合」に関してもコロナ禍を理由としたところもあるかもしれません。そこのところも分かればいいなと思います。ありがとうございます。

他に、ご質問ございませんか。

開委員：

１点よろしいですか。同じページの２ページのところで、新規求職者の中に無線免状保有の職員の方おられて、無線部の職員の方で求職されている方が今でもおられるのかなと思ったのですが、月間の求職者の方を見ると、マグロ漁船を希望されています、先月もマグロ漁船の通信を希望されている方がおられますが、通信士の職域としてはマグロ漁船しかないですか。他に今でも通信士が乗っている船舶というのはありますか。

竹内船員労働環境・海技資格課長：

内航船では「沿海、１００総トン以上の船舶」について、海技士（航海）の海技免状を受有する者が、船長または航海士として船舶に乗り組む場合には、電波法上の資格のみで乗船が可能となっています。

一方で、旅客船、貨物船及び漁船の一部で、船舶職員（通信長）の資格受有者の乗船が必要な場合があります。

横見部会長代理：

ありがとうございます。

ほか何かご質問ございますでしょうか。

佐藤委員：

新規求職者の方ですが、これは今まで船員経験がある人が転職とか、新たに仕事を探すための求職で出していると思うのですが、最近では全く未経験で船に乗っていない方でも、陸上から飛び込んでくるという方はおられますか。どんな状況か教えて下さい。

水谷船員労政課専門官：

他業種から初めて船に乗るために求職された方というのは結構おられまして、９ページの月間求職者の左側にある新規求職者の緑色にマークされてい

る３名の方が該当します。理由といたしましては、知人が船員で勧められたから、船員に興味があるから、船にも司厨の仕事があったからという理由からで、今まで全く船に乗った経験はありませんでしたが、求職を希望される方がおられました。

土屋委員：
　弊社はホームページで船員を紹介するという内容を入れています、それを見てということで、漫画家志望の方が、全く経験がないといって、船に乗ってみたいということで就職希望がありました。その中でいろいろお話を聞いたら、免状も当然ありませんでしたので、結果としては不採用となりました。それならきちんと今後の将来を考えて、免状取得のために短大とかその他の学校に行くのがいいのではないかという話を正直に話しましたら、学校に行かれると言っておられました。結果、学校へ行かれたようです。その後の追跡調査はしていないですが、そんなこともあり、今の時代なのかと思いました。

横見部会長代理：
　最近の漫画は、非常に専門性の高い内容も多いように思いますので、ある業界の漫画を描きたい漫画家さんは、自らその業界に入り込んで仕事をし、そこで得た経験をもとに漫画を描くということもあるように聞いています。もしかすると、そのような動機で乗船を希望されたのかもしれませんね。

土屋委員：
　学校を卒業して、あらためて当社に来てくれたらいいなとは思っております。

横見部会長代理：
　佐藤委員は今のご質問の回答は、それでよろしかったでしょうか。

佐藤委員：

はい、大丈夫です。

横見部会長代理：

ほかにございますでしょうか。

以前から疑問に思っていたことなのですが、２ページ目の新規求職者、年齢別に関する表について、表には男女の区別は記載されていませんが、局内では統計として把握されているのではと思います。もし今後、船員さんの求人において、女性にもさらに門戸を広げていくのであれば、私たちもその実態を知るために、どれぐらい女性の方がこの世界に入ってこられているのか、あるいは入ってこようとされているのかというところが分かれば、もっと女性参画の視点による議論が活性化できるのではと思います。

現在、生産年齢人口がどんどん減少し、これから先も減少していきます。一方で、全国の就業者数は増えています。生産年齢人口が減っているのに、なぜ就業者数が増えているのかというと、女性と高齢者の進出が、その理由です。どの産業でも女性や高齢者の力を借りないことには、この先、同じ水準で雇用者数を維持できないということを考えますと、やはり船員の世界でも女性にどれだけ門戸を広げておられるのかというところは重要な論点になると思います。

竹内船員労働環境・海技資格課長：

求職される場合には、求職票を提出していただくことになりますが、その求職票の様式には「性別の欄」がありますので、求職者全体のうち、女性の人数の把握は可能となっています。

横見部会長代理：

そうですね。分かりますよね。出しては駄目なわけじゃないですよね。

竹内船員労働環境・海技資格課長：

今まで、求職者については、ほぼ男性の求職者でしたので、男女別とはしていませんでした。

横見部会長代理：
　例えば資料の２の一番最後のページも、これは年齢とかいろいろ書いておられますけれども、当然男女は分かるわけですね。

竹内船員労働環境・海技資格課長：
　男女別で分かります。

横見部会長代理：
　実際のところ、例えばほとんど男性しかいないから、あえて男女の区分を設けていないというような状況があるのかなと思いました。

竹内船員労働環境・海技資格課長：
　私が船員労政課在任中を含め、女性の求職者は、少数だったと記憶しています。

横見部会長代理：
　実際、ほとんど男性ですか。

竹内船員労働環境・海技資格課長：
　今では、一部船社で女性の船員が活躍し始めていますが、現在でも90％以上が男性だと思います。

横見部会長代理：
　例えば資料２の９ページ目に、何人いらっしゃるのか分からないですが、30人近くおられるとして、ほぼ男性だと考えたらいいわけですか。

竹内船員労働環境・海技資格課長：
　ほとんどの求職者が男性だと思います。

村上海事振興部次長：

公共職業安定所という意味では、今、竹内課長から話がありましたが、実際、女性船員というのは進出されていますし、海技学校なり商船とかに女性の方が入られているのも確かです。ただ、船自体に女性も乗れるような形の個室スペースとか、お風呂のスペースとかいうのも工夫されている先進的な船主さん、会社さんがあえて女性を引っ張ってこようというのもございます。それこそ横見先生が考えてられるように、やはりこれから女性に進出していただかないと、会社がもたないというお考えの会社がそういう取組をされて、そこは直接女性を雇われています。その方が今現在は、もっと給料や条件の良いところを探そうかというようなことが、あったとしても縁故で行っておられるかと思います。それを運輸局の職業安定所窓口へ求職の申し込みをされるというのが今のところはないかと思われます、今後はあるかもしれません。そういう意味で、我々もそういう整理が今後必要かと、今のお話を聞いて思いました。

横見部会長代理：

だから、特定の船主さんがというよりも、業界として、女性に門戸を開けているという、そういう認識で間違いないですか。

村上海事振興部次長：

どちらもだと思います。海運関係も女性に助けていただかないといけません、我々、この運輸局に就職したときから船員の高齢化と言い続けて４０年経っておりまして、今だに現実は変わらないままです、船員も高齢となりますので、その中で就労人口が減っていくので、やっぱり女性に来ていただくという中では、海運業界もそうですし、それを先取った船主たちが取り組まれているというのが現状かと思います。

横見部会長代理：

その他いかがでしょうか。無いようですので、それでは、次に議題２の「その他」に入ります。

運輸局の方から説明をお願いします。

村上海事振興部次長：

資料４を説明申し上げます。

まず、４月分の概要ですが、４月は３月の年度末需要の影響で毎年対前月比が落ち込む傾向にありますが、前年同月比でいいますと雑貨と黒油は増加となっているものの、他の品目は前年同月比で減少となっております。

鉄鋼については、前年同月比で９２％。自動車の供給制約の影響並びに鉄鋼製品の置き場スペースの問題で輸送は落ち込みが見られるとあります。

前年同月比で増加した雑貨については、自動車のＣＫＤ輸出の横持ちや輸送が堅調であり、また、釜山港ではトランシップする貨物の本船到着の遅れ回避から日本国内港への接続が増加しているため内航の横持ち輸送がみられたとあります。

また、黒油については、製油所間転送は減少していますが、3 月 16 日に起きた福島県沖地震で東京・東北電力の石炭火力発電所の停止により、前月に続いて石油火力発電所向けの需要が見られた。また、白油は、特にガソリンですが、ＧＷに突入したものの価格高騰から需要が低調になったとあります。

業界紙の中には、鉄鋼等大部分の品目で前年割れと見出しをうっているものもあれば、不況の幕開けと厳しい見立てをするものもありました。

それでは３ページ以降、貨物ごとの状況です。３月の欄と対前月の欄をご覧下さい。

鉄鋼ですが、前年同月比で９２．２％、前月比では８８．０％

原料は、前年同月比で９６．８％、前月比では９１．４％

燃料は、前年同月比で８１．２％、前月比では７６．２％

紙・パルプは、前年同月比で９１．１％、前月比では１０１．４％

雑貨は、前年同月比で１０２．０％、前月比では１０１．８％

自動車は、前年同月比で８９．７％、前月比では８０．６％

セメントは、前年同月比で９６．７％、前月比では９０．４％

貨物船全体の輸送量は、１，６３５万７千トンで前年同月比で９３．８％、前月比では８８．４％となっています。

次のページをご覧ください。タンカーの状況です。

黒油は、前年同月比で１０１．０％、前月比では９１．２％

白油は、前年同月比で９７．６％、前月比では８３．７％

ケミカルは、前年同月比で１００．４％、前月比では９４．０％

一般タンカーの輸送量は、７５７万１千トンで前年同月比で９８．９％、前月比では８６．７％となっています。

続きまして、

高圧液化は、前年同月比で７８．０％、前月比では８８．６％

高温液体は、前年同月比で９７．２％、前月比では８４．４％

耐腐食は、前年同月比で９４．８％、前月比では８６．９％

特タン船の輸送量は、９９万５千トンで前年同月比で８５．９％、前月比では８７．４％となっており、全てのタンカーの合計は、８５６万６千トンで前年同月比で９７．２％、前月比では８６．８％となっています。

次に資料５、長距離フェリーの令和４年３月の輸送実績でございます。

近畿管内長距離フェリーの４月分実績を総括しますと、先ほど内航の実績で申し上げたことと同じになりますが、３月の年度末需要に対して４月の対前月比は落ち込む傾向があります。

対前年同月比は、旅客、自動車で高い数字が出ておりますが、コロナ前の実績には届かない状況です。

４月の欄と、右のほうの対前月、対前年同月比のところをご覧ください。

まずトラックですが、

北海道は、１０，２５２台で、前月比９５．２％、前年同月比で９３．５％

北九州は、３０，３７２台で、前月比９０．５％、前年同月比で９７．０％

中九州は、１０，３００台で、前月比１００．６％、前年同月比で９８．７％

南九州は、１１，９３４台で、前月比９６．６％、前年同月比で９８．９％となっています。

次のページ、旅客でございます。

北海道は、７，７４６人で、前月比１２７．０％、前年同月比で１３７．９％
北九州は、５７，１４４人で、前月比９０．９％、前年同月比で１６６．３％
中九州は、１９，６５０人で、前月比８５．６％、前年同月比で１５２．２％
南九州は、１８，７８３人で、前月比９４．７％、前年同月比で１４５．６％
となっています。
次のページ、乗用車でございます。
北海道は、３，１９６台で、前月比１２８．９％、前年同月比で１３５．７％
北九州は、２２，７０３台で、前月比９７．３％、前年同月比で１３５．１％
中九州は、４，０１０台で、前月比９５．７％、前年同月比で１４７．４％
南九州は、６，３３２台で、前月比７９．６％、前年同月比で１０７．１％
となっています。
私からの説明は以上でございます。

横見部会長代理：
ありがとうございました。
それでは、資料４、５について何かご質問等ございますでしょうか。

定岡委員：
質問じゃないんですけれども、何かフェリーがすごく戻ってきたなという感じがします。

横見部会長代理：
私も思いました。

定岡委員：
現場の感覚としてもそんな感じですか。

開委員：

戻ってきたといいましょうか、昨年、一昨年に比べると２割増し、３割増しで戻ってきていますけれども、その前の通常の時期というのは令和元年度ですので、そこから見ますとまだまだちょっと、本来には戻っていないというのが現実ですね。

浦委員：
あとはＧｏＴｏに期待ですね、前回の時はフェリーの数字が戻ってきたので、また実施されれば確実に改善するはずなんです。

定岡委員：
そろそろ旅行したい気持ちがたまっているし、かといって海外には行けないしというところがあります。

開委員：
コロナの影響もあって、移動の手段に車で動きたいという方が増えているように感じます。家族だけで車で行くという形です。

土屋委員：
外国人の方はフェリーに乗船されますか。

開委員：
北海道航路は元から外国人は少なかったです。グループの瀬戸内海航路では以前は多くの外国の方に乗っていただいていましたが、インバウンドの方そのものが来られていない状態です。円安もありますからこれから来てくれて、たくさん乗っていただければありがたいです。

横見部会長代理：
ほかに何かご意見ございますでしょうか。

佐藤委員：

阪神－北九州航路の乗用車のほうは、既にもうコロナ前まで戻っていますね。ここだけ唯一です。これは何か要因がありますか。ここが特別にいい傾向になっているのですけれど、何か要因等あれば教えてもらいたいです。

村上海事振興部次長：

これについては来月の宿題ということで、確かにおっしゃるとおり、北九州便だけは戻っているようだと思います。この４月から、また５月のゴールデンウイークも同じような傾向が多分続くと思います。

大谷海事振興部長：

来月までに調べてきますが、ただ、旅客数は戻っていないのに乗用車の数が戻っているということは、先ほどの話にもあったようにコロナ禍において比較的近場へ乗用車で家族だけでという旅行客は戻ってきたのではないかと思われます。

横見部会長代理：

それでは、労働者委員の方から何かございますでしょうか。

佐藤委員：

先月も井上委員のほうから報告があったと思うのですが、冨士運油というオペレーター会社の破産の件です。乗組員29名については５月31日付で解雇ということになっております。今、29名の労働債権確保に向けた活動を実施しておりますが、その中で一つお願いがあって、賃金立替前払い制度を国に対して申請の手続をするために、資料を集めておりますので、窓口が最終的には関東運輸局ということは聞いておりますが、手続関係で今後もまた近畿運輸局の方にもお願いすることになると思われますが、その際はご協力いただければなというふうに思います。

竹内船員労働環境・海技資格課長：

既に、全日本海員組合大阪支部から、当課に対して「賃金の支払いの確保に関する法律」関係の申請書等の問い合わせがあり、対応させていただいたところです。

横見部会長代理：
それでは、続いて、使用者委員の方から何かございますでしょうか。

礒合委員：
昨日、清水海上短期大学校の学生が会社訪問で弊社に来てくださいました、何で当社を知りましたかという問いに、船対協とか全国内航タンカー海運組合などの出前授業を受けて、それで内航海運業界のこと、内航タンカー業界のことを知って、学生自身が大阪に住んでいるということから、当社を調べて、訪ねましたと言われました。各学校への出前講座というのは地道にやっていくことで、成果がでると感じました。この学生と私も少し話をしたのですが、非常にやる気があり、船も見せてくださいということで、乗船する可能性がある船を見学してもらうこととしました。出前講座などの活動というのは良いことだというのを昨日感じましたので、その報告をさせて頂きました。

横見部会長代理：
ご紹介ありがとうございます。
ほか何かございますでしょうか。
公益側、いかがでしょう。よろしいですか。

横見部会長代理：
無いようでしたら、これで本日の部会は終了いたします。
次回は７月２８日（木）１６時００分からとなっておりますので、皆様よろしくお願いいたします。

（配付資料）

資料１．令和４年５月分　近畿運輸局管内船員職業紹介実績表

資料２．令和４年５月分　月間有効求人・求職状況（近畿管内）

資料３．令和４年４月分　局別月間有効求人数（商漁船・職部員別）等

資料４．内航輸送実績状況（令和４年４月分まで）

資料５．長距離フェリー輸送実績の推移（令和４年４月まで）